

博士予備論文

課程博士として博士学位論文を提出しようとする者は、それに先だって以下の要領で博士予備論文を作成し、提出しなければならない。

提出にあたっては、履修要項 博士課程後期課程「博士学位申請」の該当頁を確認すること。

1. 提出日時・場所

<春学期提出>

	日時	場所
提出願提出締切	2025 年 5 月 5 日 (月) 17:00	オンライン提出フォーム
博士予備論文提出締切	2025 年 5 月 30 日 (金) 17:00	オンライン提出フォーム
口頭試問	2025 年 6 月下旬から 7 月上旬	日時・場所の詳細は専攻主任から通知
結果通知	2025 年 8 月末まで	研究科から通知

<秋学期提出>

	日時	場所
提出願提出締切	2025 年 12 月 5 日 (金) 17:00	オンライン提出フォーム
博士予備論文提出締切	2026 年 1 月 8 日 (木) 17:00	オンライン提出フォーム
口頭試問	2026 年 1 月下旬から 2 月	日時・場所の詳細は専攻主任から通知
結果通知	2026 年 3 月末まで	研究科から通知

2. 博士予備論文提出願

書式を以下からダウンロードし、指定のオンライン提出フォームから提出すること。

[【2025 年度博士予備論文提出願】](#)

*提出にあたっては、予備論文を正・副指導教員に提示し、その許可を得た上で提出すること。

3. 博士予備論文作成要領

(1) 内容

予備論文は、博士学位申請論文提出に先立ちその 99%を仕上げたものとする。

(2) 体裁，書式，言語

表紙・中表紙には、「*年度 博士予備論文/Preliminary Doctoral Dissertation 202X」と明記する。

本文が始まる前のページに「宣誓書」を綴じる。(表紙・中表紙および宣誓書の様式は博士学位申請論文作成要領参照)

その他の書式・体裁については博士学位申請論文書式・体裁に準ずる(既定の分量と大きく異なる場合は、提出願の提出時に研究科委員会の承認が必要)。

予備論文の使用言語は日本語または英語とする。

予備論文とは別に、要旨を付すこと(日本語の場合 4,000 字以内、英語の場合 1,600 語以内)。

(3) 学術論文 2 編

予備論文を提出するためには、学術的に認知された雑誌(査読付き学会誌など)に掲載された論文を 2 編提出しなければならない。ただし、『異文化コミュニケーション論集』は 1 編のみに限る<2020 年度以降入学者>。共著論文の場合は、第一著者であることを条件とする。共著者による証明(書式自由)を提出すること。なお、論文は本学後期課程入学後に発表されたものを対象とする。

申請時に受理された論文が未刊行である場合は、出版元が発行した掲載証明書(掲載が認められたことを証明できるもの)を添えて、論文を提出すること。

(4) 提出部数

博士予備論文 1 部

要旨 1 部

学術論文 2 編 各 1 部

*上記を PDF データで提出すること。